

2017年 夏

新家江里香

コアシンクロニズム等自然療法士

米国公認マッサージ士 (二州)

ヨガインストラクター



米国のスタジオ

皆様、いかがお過ごしでしょうか？

北海道の爽やかな風薫る季節を楽しんでおられることでしょう。
ペンシルバニアの森も緑が冴え、大変美しい季節となりました。

1) 札幌訪問記 (4月11日～24日)

4月訪札中には、本当にたくさんのご予約をいただき、大変ありがとうございました。

いつも変わらぬ皆様のご支援に感謝いたします。

また、予定の調整ができず、受療を断らせて頂いた方々には、改めてお詫び申し上げます。

今回は母と姉が広島より札幌まで出向いてくれました。

まほろばの宮下社長、皆様に大変ご親切にして戴き、感謝申し上げます。

以前、某自然食品店の事務をしていた姉は、「まほろばさんはレベルが高い」

「母が元気になったのも、まほろばさんのおかげ」と感動していました。

母への施療は、間隔は空いていますが、7度目くらいです。母は、リンパ腫

やリウマチを患った経験があっても、エネルギーの流れという点ではかなり

安定し、元気にしています。課題は残ったものの、施療後の母は、空港の港

内で慌てて走れるほどに快調だった、と姉が伝えてくれました(笑)。



2) コアシンクロニズムが評定するもの

さて、コアシンクロニズムで何を評定し、その調整によってどのような変化が期待できるのでしょうか？

コアシンクロニズムでは、生命体のすべての部位の動きを評定します。これには骨格、内臓、神経系、大小のチャクラ、ヘルメスの杖、身体をとりまくエネルギーの流れ等が含まれます。それら全てが、脳脊髄液の流れにそって、一定のリズム、タイミングで動いているかを見ています。

それらの調整により、体のすみずみにまでエネルギーや体液が循環する環境をつくりだし、体の自然治癒力を最大限に引き出すことをねらいとします。調整後は、体液が循環しているので、体が軽く、気持ちが良いです。これを自由というのかな、と思います。

命があるところには「流れ」があります。生命体の各部位の動きの不調和は、体液やエネルギーの流れの滞りの原因となります。調整により「流れ」が良くなれば、体が調えられ、楽になります。

個人的には、「流れ」というコンセプトが好きです。中医学、インド哲学、アイヌ紋様など、人々は文化を超えて、「流れ」に何か大切なものを見いだしてきましたね。

セラピストは生命力がその力を最大限に発揮できる環境をつくるよう働きかけるだけ。癒すのはご本人の生命力です。セラピストは調律師のような像でしょうか。音楽をつくり、奏でるのはご本人です。

それではどうぞお元気にお過ごし下さいますよう。またお会いする日を楽しみに致しております。



おまけ：ウッドチャックと七面鳥

七面鳥は、尾羽を広げると、迫力
ありますね。。。15羽くらい群れ
ていることもあります。畑の野菜が
餌食になる可能性大です。。